



カルチャートーク Creators@Kamogawa

日独のクリエイターが熱く語る！（日独同時通訳付）

2019年11月30日（土）

会場：ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川

入場無料 申込不要

Samstag, 30. November 2019, 15 Uhr
Goethe-Institut Villa Kamogawa / Eintritt frei

第2部

『ラ・長い息』 LA_LANGERATEM

フルクサス運動に影響を受けるレジデントと、元・具体美術協会会員の美術家が、具体美術や前衛芸術運動について語り合います。

トークの後は、館内のドイツカフェ『カフェ・ミューラー』にて、ドイツビールやおつまみを片手に交流をお楽しみください。交流会では、滞在中のドイツ人芸術家の作品も、モニターでご覧いただけます。

小崎 哲哉（司会、構成）

Tetsuya Ozaki (Moderator)

主催・お問い合わせ

Goethe-Institut Villa Kamogawa
京都市左京区吉田河原町19-3（川端通り荒神橋上る）

TEL: 075-761-2188（内線31#）
info-villa-kamogawa@goethe.de
www.goethe.de/villa-kamogawa/ja



〈交通のご案内〉

京阪電車 出町柳駅より 南へ徒歩8分
京阪電車 神宮丸太町駅より 北へ徒歩6分

Foto: Manuel Franke © Leni Hoffmann

レニ・ホフマン（美術家） LENI HOFFMANN

1962年生まれ。デュッセルドルフとカールスルーエを拠点に、サイトスペシフィックな創作活動を行う。ゲオルク・ファーラーに師事し、マイスター・シューラー取得。テンポラリーな作品を制作し、公共空間や私的空間や施設空間における「絵画」のあり方を、素材により異なる手法を用いて問い直す。ヴィラ・マッシモのローマ賞、カプリエレ・ミュンター賞、パリ国際芸術都市でのレジデンス滞在など数多く受賞。これまで作品は、ボン美術館、ケルン・ルートヴィヒ美術館、フランクフルト・シュテッデル美術館、ルートヴィヒスハーフェン・ヴィルヘルム・ハック美術館、パリ市立近代美術館、シエナ・パペッセ美術館、プレゲンツ美術館などで展示された。第3回モスクワ・ビエンナーレに参加。2002年よりカールスルーエ美術アカデミー教授。

今井 祝雄 （美術家）

Norio Imai
(Bildender Künstler)



1946年大阪生まれ。吉原治良に師事し1965年に最年少の具体美術協会会員となる。1966年、第10回シエル美術賞1等賞受賞。1972年具体解散以降、写真や映像を用いたコンセプチュアルな傾向を強め、その後、パブリックアートも数多く手掛ける。パリ青年ビエンナーレ、シドニービエンナーレ、グッゲンハイム美術館、テート・モダンなどの企画展に出品。来年、シュテッデル美術館（フランクフルト）における具体展に出品予定。著書に「タイムコレクション」（水声社）ほか。成安造形大学名誉教授。

GOETHE
INSTITUT
VILLA KAMOGAWA